

# 水野けんいち レポート

〈Vol.47〉

発行所/佐倉市王子台1-14-4  
TEL. 043-463-2400  
FAX. 043-463-0475  
E-mail:office@mtzunokenichi.com

## KENICHI MIZUNO REPORT

### 水野賢一衆議院議員に 政策全般について聞いた

Q1

いま一番力を入れている問題は？

**水野** 税金の無駄遣いを一掃することです。そのために無駄の温床とされる特定財源の廃止に向けて活動してきました。

※最大の特定財源である道路特定財源は平成21年度から廃止された。

Q2

財政再建のためには消費税率のアップは避けられないという声もありますが。

**水野** 「無駄撲滅なくして増税なし」と考えています。もちろん未来永劫現在の税率5%のままですむわけはありませんが、その時には生活必需品は軽減税率を適用することも必要です。

Q3

衆議院の環境委員長として温暖化防止にもつとめていますね。

**水野** 温暖化の原因となる二酸化炭素の排出は千葉県が全国の都道府県のトップです。それだけに真摯に削減に取り組む必要があります。

温室効果ガス排出量の上位3位(平成19年度)

- ①千葉県 5,622万トン
- ②愛知県 4,455万トン
- ③広島県 4,020万トン

[出典：環境省資料]

注大規模工場が多い県が上位にくる傾向がある。東京都はオフィスが多いが工場が少ないため16位となっている。

諸外国の消費税率

	導入年	税率	軽減税率
日本	1989年	5%	なし
スウェーデン	1969年	25%	医薬品はゼロ税率、新聞書籍は6%、食料品は12%
フランス	1968年	19.6%	新聞 医薬品は2.1%、食料品は5.5%
イギリス	1973年	15%	食料品 新聞 医薬品はゼロ税率、家庭用燃料は5%

Q4

年金についてはどうですか？

**水野** 年金を政争の具にするのではなく各党が英知を出して良い制度を作るため歩み寄るべきだと思います。

ただ基本的には民主党のいう税方式には疑問を持っています。消費税の大幅増が必要になり、これまで真面目に年金保険料を払ってきた人も高い消費税を払わざるをえなくなるからです。

Q5

医療に関してはどうですか？

**水野** 全国的に医師が不足していますが、特に救急医療、小児科医、産婦人科医が足りなくなっています。こうした分野にとりわけ手厚い予算配分が必要です。

Q6

北朝鮮は核実験やミサイル発射を強行するなど安全保障上の脅威になっていますが。

**水野** 核・ミサイルに加えて拉致問題の解決も重要です。北朝鮮がこれまで通りの不誠実で勝手な態度をとり続ける限り圧力をかけ続けるべきです。安易な制裁解除や支援には反対です。